

令和 02 年 11 月 05 日

## 脳神経外科に入院歴のある患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 アルテプラゼ投与後の治療に関する検討

【研究機関】 単施設(阪和記念病院)

【研究責任者】 阪和記念病院 脳神経外科 医長 福屋 章悟

【研究の目的】

アルテプラゼを用いた急性期虚血性脳血管障害患者に対する静注血栓溶解療法は、2005 年に国内で認可された後、多くの脳梗塞症例で用いられてきました。しかし、アルテプラゼ投与後にどのような治療がなされるべきかはまだ確立はされておらず、脳梗塞によってはその後増悪の経過をたどることがあります。本研究ではアルテプラゼ投与患者さんの臨床経過や検査結果などを検証し、最適な治療方針を検討していくことを目的としています。

【研究の方法】

対象となる患者さん： 阪和記念病院でアルテプラゼを用いた治療を行った患者

利用する情報： 患者背景情報、病歴（現病歴・併存疾患・既往歴・家族歴・嗜好歴など）、バイタルサイン、検査（血液尿検査、画像など）所見、治療内容および経過、転帰など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前・住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

大阪府大阪市住吉区苅田 7-11-11

阪和記念病院 脳神経外科 担当医師 福屋 章悟

電話：06-6696-5591

FAX：06-6607-1993